

現実行委員長を務める河合芳明さんにお話を伺いました。

火 思いの形に

「これまで2年連続での中止を経て、収束を願った昨年度も感染拡大防止のため企画展のみとなりました。3年連続で群行が行えない状況となり、併せて私たちの日常生活や経済への打撃も想像を超える状況の中、これまで支えていただいた地域の方々、地元企業の皆様などからのご支援により保存してきた多くの衣装や道具などの損傷も大きく、この先続けていくことが非常に難しくなり、残念ではありますが群行を終焉せざるを得ないという厳しい決断に至りました。群行という形を再び復活させるこ



引き継がれる「郷土愛」

火 子どもたちにも歴史体験を

地域の大切な歴史を学び、守っていくことと大野小学校では手作りによる「あいの土山齋王群行」を体験する授業も行われました。



▼手作りによる衣装で齋王群行を体験する大野小学校児童(令和元年度の写真)



とは並大抵のことではありませんが、地域に残された素晴らしい歴史をみんなで守り、その良さを伝えようという気持ちがあればきつといつの日か思いが形になるのではと信じています。そこには決して自分のためではなく、「みんなのために」という少し忘れかけている大切な心も必要ではないかと思えます。新型「コロナ」は未だ収束の見通しがつきません。先人がこれまで残してくれた地域の歴史や文化を今、私たちはもう一度考える必要があるのではないのでしょうか。」



▲地域への思いを話す河合さん



第1回から着付け役として参画されている倉森滋美さんにお話を伺いました。

あいの土山齋王群行は私の宝

「齋王群行との出会いは、もともとは京都でスタイリストの仕事をしていたこともあり、第1回から着付けの担当としてお声をかけていただいたのがきっかけです。当時から京都の葵祭りでは着付けを担当されている南登美子先生とこれまで24年間、一緒に齋王群行に携わってきました。南先生とお出合いでき、時には厳しくも優しく指導をいただいたことが、あいの土山齋王群行」をこれまで続けてこられた証だと思えますし、私にとっては宝です。」

これまで齋王役を務められた3人の方にお話を伺いました。

第17回(平成25年度)齋王役 石田光さん

齋王さんの華やかさに魅せられて

「子どもの頃から地元で開催される齋王群行が身近にあったので、小学生の時に童女役をさせていただきました。その時に見た齋王さんがとても美しく華やかで、大人になったら私もぜひ齋王さんになりたいと思ったことがきっかけです。地域の文化を語り継いでいくことは非常に難しいことではありますが、例えば歴史資料館などでこれまでの展示を行い、後世にその歴史を残していくことも大切だと思います。」



▲齋王役を務めた石田さん



▲齋王役を務めた中村さん

第20回(平成28年度)齋王役 中村楓佳さん

実際の体験であこがれの齋王役へ

「齋王群行との出会いは小学1年の時、地元の合唱団に入っていたことから齋王さんちゃんこ唄を披露したのが始まりです。その時に童女の衣装がすごく綺麗で私も着たいという思いがすごく強くなり、これまで童女・采女なども経験しました。そして小さい頃からあこがれていた齋王役を20歳の記念で務めさせていただき、私自身はもちろん、家族も大変喜んでくれたことが嬉しく思います。小さいときに齋王群行に触れたことであこがれの齋王役まで務めることができました。歴史や文化に実際に触れ体験する機会を増やすことも必要なことなのかもしれません。」

第21回(平成29年度)齋王役 豊平恵さん

齋王群行を通じて味わった達成感

「小学4年生のときに、友達が童女役へ応募したのがきっかけです。童女・采女と経た後、しばらくした仕事の関係で地域のこともっと知活かせると思い、実際に体験してみようと思いました。これまで参加した齋王群行は、すべて天候にも恵まれ、東海道を練り歩けたことで大きな達成感も味わえました。特に年にはステーションなどすごく楽な地域行事が寂しいですが、残しは、これまで以上に私たちが発信しているのではないで



▲齋王役を務めた豊平さん

引き継がれる郷土愛

今回取材させていただいた「あいの土山齋王群行」は地域の歴史を探求し、再び光を当て24年間という長きに渡り、たくさんの方々の地域への熱い思いも同時に引き継がれてきました。社会が変化していく中、祭事などを継続していくことは難しくなっていると言われます。今、私たちが見て、触れて、感じている歴史や文化には地域に脈々と受け継がれてきたふるさとへの思い「郷土愛」があふれているのだと思います。

各地域に伝わるお祭りや伝統行事、そこで披露される歌や踊りのひとつひとつに込められた地域の方々の思いを私たちはこれからも大切に、将来へつなげていきたいと思います。



▲雅な群行を再現するため化粧を施す倉森さん